

問1 ケニアの地理的特徴と食文化について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 中央部には標高5000mを超えるケニア山があるが、乾燥が激しいため農業は行われず、トルコの影響で羊肉を焼く文化が主流である。 | 2. 国土の西部には茶の栽培に適した土壌が分布しており、かつてのイギリスの影響からミルクティーを飲む習慣がある。 | 3. 国土の全域が低地であるため熱帯雨林が広がり、主食として米を食べる文化がベトナムから伝わった。 | 4. 標高の高い地域では小麦の生産が世界最大級であり、フランスの影響でパンが主食となっている。 |
|---|--|---|---|

問2 日本の国際協力の一環として行われているアフリカでの食料生産指導について、その具体的な内容と期待される効果として正しい説明を選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 都市部での教育支援のみに特化し、農業に従事する人口を減らして工業化を促進することで経済発展を図る。 | 2. 日本の最新式大型農機具を無償で大量に提供し、現地の伝統的な農法をすべて機械化による大規模栽培に置き換える。 | 3. 現地の野生動物を保護し、観光業を振興することで得られた外貨をすべて食料の輸入費用に充てるよう指導する。 | 4. アジアイネの多収性とアフリカイネの病害虫・乾燥への強さを併せ持つ「ネリカ米」を普及させ、食料生産を安定させる。 |
|--|--|--|--|

問3 赤道付近に位置し、標高が1000メートルを超えるアフリカ東部の高地で見られる、気候や生活の様子について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 海拔が低く平坦な土地が続いているため、地表の熱が逃げにくく、夜間も非常に気温が高い。 | 2. 緯度が低いため、一年を通じて30度を超える猛暑が続き、雨季と乾季がはっきりと分かれる。 | 3. 赤道直下のため、季節による気温の変化は小さいが、標高の影響で年間を通じて涼しい。 | 4. 南半球からの冷たい季節風の影響を直接受けるため、冬には氷点下まで気温が下がる。 |
|---|--|---|--|

問4 人口と国内総生産（GDP）の統計から推測される、アフリカ州の経済的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 人口と国内総生産のどちらも世界で最も低い水準にあり、小規模な経済圏を形成している。 | 2. 人口は世界で最も多い水準にあり、それに比例して国内総生産も世界最大となっている。 | 3. 人口は10億人を超えて非常に多いが、国内総生産は他の州に比べて著しく低い位置にある。 | 4. 人口は比較的少ないが、高度な工業化によって人口あたりの国内総生産は極めて高い。 |
|--|---|---|--|

問5 アフリカ大陸南部に位置し、東経20度の経線が通る国では、その豊かな自然環境や地下資源を背景に産業が発展してきました。この国の産業の変遷や経済的特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 島国としての利点を生かして、中継貿易と観光業を国の主要な経済活動としている | 2. 金やプラチナなどの豊富な鉱産資源を背景とした鉱業から、近年は製造業への転換が進んでいる | 3. 国土の大部分が平坦な農地であるため、小麦やとうもろこしの輸出に特化した大規模農業が中心である | 4. 大西洋側の港を利用した原油の輸出が輸出総額のほとんどを占める、モノカルチャー経済である |
|--|--|---|--|

問6 アフリカ州の国々に見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何といいますか。この経済構造は、天候不順や国際価格の変動の影響を受けやすいという特徴があります。 (2023年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|--------------|
| 1. フェアトレード | 2. バイオテクノロジー | 3. プランテーション農業 | 4. モノカルチャー経済 |
|------------|--------------|---------------|--------------|

問7 アフリカ北部に位置し、国の輸出総額の大部分を原油や天然ガスといった特定のエネルギー資源が占めている国として、最も適切な名称を選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------------|---------|-----------|
| 1. ケニア | 2. 南アフリカ共和国 | 3. エジプト | 4. アルジェリア |
|--------|-------------|---------|-----------|

問8 アフリカの国々の中には、ザンビアの銅やガーナのカカオのように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家経済の大部分を依存している国が多く見られます。このような経済構造を何といいますか。 (2023年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|--------------|------------|----------|
| 1. 知識集約型産業 | 2. モノカルチャー経済 | 3. 輸入代替工業化 | 4. 循環型経済 |
|------------|--------------|------------|----------|

問9 アフリカ大陸の北東部を内陸から北の地中海に向かって流れ、その流域において古代エジプト文明を成立させた、世界で最も長い距離を持つ河川を次の中から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. ライン川 | 2. インダス川 | 3. アマゾン川 | 4. ナイル川 |
|---------|----------|----------|---------|

問10 アフリカ大陸の北西端に位置するモロッコにおいて、タコ漁が盛んになり、遠く離れた日本への輸出が拡大した背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 地中海沿岸の乾燥した気候を利用した天日干しの技術が普及し、保存のきく乾燥タコが日本の需要と一致したため | 2. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響でプランクトンが豊富であり、古くから国内でタコを食べる食習慣が根付いていたため。 | 3. 沿岸を流れる寒流の影響で好漁場となっており、冷凍技術の向上によって鮮度を保ったままの輸送が可能になったため。 | 4. マングローブ林が広がる海岸部で養殖技術が発達し、国内消費だけでは余剰が出るほどの生産量を確保できたため。 |
|--|--|---|---|

問11 アフリカ大陸の北部に位置する、世界最大の面積を持つ砂漠の名称と、その地域においてアラブ文化の影響を強く受けて広く信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|----------------|-----------------|----------------|
| 1. カラハリ砂漠と仏教 | 2. サハラ砂漠とキリスト教 | 3. カラハリ砂漠とイスラム教 | 4. サハラ砂漠とイスラム教 |
|--------------|----------------|-----------------|----------------|

問12 ナイジェリアやベネズエラのように、輸出額の7割以上を特定の資源が占め、第2位にも液化天然ガスなどのエネルギー資源が続くような経済構造を持つ国々の特徴と課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 銅の輸出に依存しているため、先進国の電子部品需要の減少によって景気が後退しやすい。 | 2. 原油の輸出に依存しているため、国際的な価格変動が国家財政に大きな影響を及ぼしやすい。 | 3. 石炭の輸出に依存しているため、世界的な脱炭素化の動きが経済的なリスクとなっている。 | 4. 鉄鉱石の輸出に依存しているため、主要な輸出先である中国の不動産不況の影響を強く受ける。 |
|--|---|--|--|

問13 エジプトとリビア、あるいはエジプトとスーダンの国境線のように、山脈や河川などの自然の地形を利用せず、地図上の経線や緯度に沿って引かれた直線的な境界について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 1. 同じ言語や宗教を持つ人々が分断されないよう、現地の住民が話し合っ | 2. 砂漠地帯における遊牧民の移動ルートを確保するために、自然発生的に成立したもの | 3. 標高の高い山脈や大河川の流れを基準に、軍事的な衝突を防ぐ目的で引かれたもの | 4. かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの |
|-------------------------------------|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国土の西部には茶の栽培に適した土壌が分布しており、かつてのイギリスの影響からミルクティーを飲む習慣がある。	ケニアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、紅茶（ミルクティー）を飲む習慣が根付いています。また、標高が高い地域の気候や火山性の土壌を活かして、西部を中心に輸出用の茶の栽培が盛んに行われています。
問2	答え 4 アジアイネの多収性とアフリカイネの病害虫・乾燥への強さを併せ持つ「ネリカ米」を普及させ、食料生産を安定させる。	ネリカ米（NERICA）は「New Rice for Africa」の略称で、アジアの高い収穫量とアフリカの環境適応能力を兼ね備えたハイブリッド米です。灌漑設備が不十分な地域でも栽培が可能であるため、アフリカの慢性的な食料不足を解決する画期的な手段として日本の技術指導のもとで普及が進められています。他の選択肢にあるような「教育のみ」「保護のみ」といった偏った支援ではなく、産業の基盤を作る多角的な支援が行われています。
問3	答え 3 赤道直下のため、季節による気温の変化は小さいが、標高の影響で年間を通じて涼しい。	赤道付近の地域は太陽からのエネルギーを強く受けるため、本来は熱帯の気候になります。しかし、ナイロビなどの高地では、標高が高いことで気温が低くなり、一年中「常春」のような状態になります。赤道付近であるため、季節による日照時間の差が少なく、月ごとの平均気温の差（年較差）が非常に小さいことも大きな特徴です。
問4	答え 3 人口は10億人を超えて非常に多いが、国内総生産は他の州に比べて著しく低い位置にある。	アフリカ州は「21世紀はアフリカの世紀」と呼ばれるほど人口増加が著しく、10億人を突破していますが、経済規模を示す国内総生産（GDP）の伸びは人口増加に追いついていません。例えばアジア州は人口・GDPともに高い水準にあり、ヨーロッパ州は人口に比して高いGDPを維持していますが、アフリカ州は人口の多さと経済的貧しさが共存している点に特徴があります。
問5	答え 2 金やブラチナなどの豊富な鉱産資源を背景とした鉱業から、近年は製造業への転換が進んでいる	南アフリカ共和国は世界有数の鉱産資源産出国であり、長らく鉱業が経済を支えてきました。しかし、近年では産業の多角化を図るため、自動車産業などの製造業の育成に力を入れており、アフリカ大陸の中でも高度な工業化が進んだ国として知られています。問題文にある東経20度の通過や多様な自然環境という記述からも、同国を特定することができます。
問6	答え 4 モノカルチャー経済	特定の一次産品（農産物や鉱産資源）の生産や輸出に依存する経済構造をモノカルチャー経済といいます。プランテーション農業は、植民地時代に作られた大規模農園で行われる農業のことであり、経済構造全体を指す言葉とは区別が必要です。
問7	答え 4 アルジェリア	アフリカ大陸北部に位置するアルジェリアは、サハラ砂漠から産出される豊富な原油や天然ガスの輸出に経済を大きく依存しています。輸出額全体に占めるこれらのエネルギー資源の割合が極めて高く、世界の資源価格の変動が国内経済に直接的な影響を及ぼしやすいという特徴があります。
問8	答え 2 モノカルチャー経済	特定の少数の産品を輸出することに頼る経済体制をモノカルチャー経済と呼びます。アフリカ州の国々の多くは、かつての植民地支配の影響などから、特定の資源や農作物の生産・輸出に特化した構造が残っています。この体制は、特定の品目の需要や価格が変動するだけで国全体の財政が大きく左右されるという不安定さを抱えています。
問9	答え 4 ナイル川	アフリカ大陸の北東部を流れるナイル川は、全長約6,650kmに及ぶ世界最長の河川です。周囲の多くが砂漠地帯であるなかで、この河川は貴重な水資源となり、流域には古代エジプト文明が誕生しました。一方、インダス川は南アジア、アマゾン川は南アメリカ、ライン川はヨーロッパを流れる河川です。
問10	答え 3 沿岸を流れる寒流の影響で好漁場となっており、冷凍技術の向上によって鮮度を保ったままの輸送が可能になったため。	アフリカ北西部の沿岸にはカナリア海流という寒流が流れており、タコの好漁場となっています。モロッコ国内ではタコを食べる習慣はほとんどありませんが、冷凍技術が発達したことで、日本の需要に応えるための重要な輸出産業として発展しました。エビの養殖などは東南アジアなどで見られる特徴であり、モロッコの事例とは異なります。
問11	答え 4 サハラ砂漠とイスラム教	アフリカ大陸の北半分を占めるサハラ砂漠は、世界最大の乾燥地帯です。この地域は地理的に北アフリカと呼ばれ、古くから地中海を介して中東のアラブ諸国との交流が活発でした。その歴史的背景から、言語や生活習慣においてアラブ文化が浸透しており、宗教面ではイスラム教が支配的な文化圏を形成しています。
問12	答え 2 原油の輸出に依存しているため、国際的な価格変動が国家財政に大きな影響を及ぼしやすい。	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済と呼びます。ナイジェリアやベネズエラは原油への依存度が極めて高く、世界情勢によって原油価格が下落すると、外貨収入が激減し国内経済や社会情勢が不安定になるというリスクを抱えています。
問13	答え 4 かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの	アフリカ大陸の多くの国々で見られる直線的な国境は、19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパの列強諸国が植民地を分割する際に、地図上の経緯線を基準にして便宜的に引いたものです。この線引きは、現地の部族の居住地や伝統的な生活圏を無視して行われたため、独立後も民族間の対立や国境紛争を引き起こす大きな要因となりました。